



川内小学校だより

ゆずり葉

第15号

令和2年1月28日
桐生市立川内小学校発行



健康管理—ご配慮を！

年が明けて早くも1か月近くが経とうとしています。もうすぐ豆まきの時期かと思うと、今年度もあとわずかと実感してしまいます。

さて、ご家族の皆様は健やかに過ごしてでしょうか。昨年末や3学期のスタート時期には県内各地で、インフルエンザが流行り始めているという話を耳にしましたが、川内小では今月の中旬頃からインフルエンザ罹患の連絡が目立つようになり、先週は1年1組が3日間の学級閉鎖の措置を取る

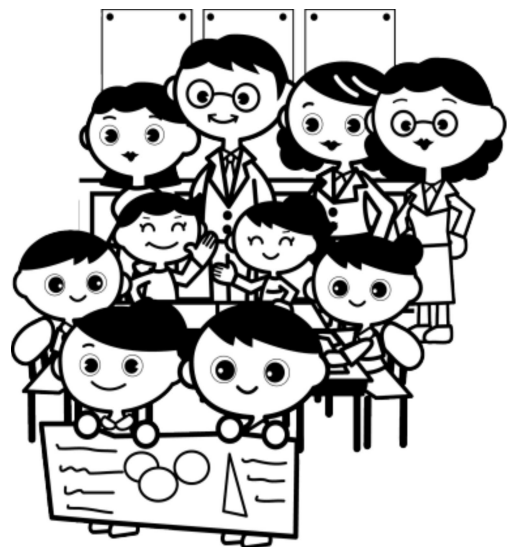


こととなりました。市内でも同じように学級閉鎖の対応を取る学校が複数出ています。今の時期のインフルエンザはそのほとんどがA型ということで、高い熱が出る傾向が見られるようです。こうした状況において、兄弟に受験生がいるご家庭では、ご家族の健康管理にかなり神経をつかっていることと思われます。いずれのご家庭におかれましても、できる限り複数や大勢いるところへの出入りを避けたり、マスクの着用を心がけたりするなど予防対策に十分努めていただきたいと思います。



学習参観・懇談会とお世話になります。

先週の5年生を皮切りに授業参観が行われる時期となりました。今週は3年生、2年生と続きます。参観していただく学習の内容は、学年によって違いがあると思いますが、これまでに学んだことをその成果として発表する学年が多いように聞いています。ただ、保護者の皆様方によく見ていただきたいのは、発表の内容もさることながら、発表するときの態度や様子です。現在の学年となって3学期のこの時期になると、子どもたちが大いに成長したことが見て取れます。「人前で随分スムーズに話ができるようになったな」「恥ずかしがらずに堂々とした態度がとれるようになったな」「気持ちや考え方がしっかりしてきたな」など、個人差はありますが、どの子も確実に成長してきていることを感じていただけるはずです。そこでは上手くできたり失敗したりする様子も見られるでしょうが、そんなことは関係ありません。大人が親の立場で教師の立場で、いっしょに子どもたちの成長を感じて喜ぶことが素晴らしいことと考えています。そんな視点で見ていただきながら、これを家に帰って話題に取り上げ、褒めたり励ましたりしていただければ幸いです。よろしくをお願いします。



5年生がものづくり体験を行いました。

1/24(金)の午前中に、5年生が「建具」「タイル」「内装」にかかわる内容での体験活動を行いました。それぞれの分野でのプロの職人さんたちが大勢来校され、内容に応じて3つのグループに分かれてご指導いただきました。当然のことながらほとんどの子どもたちが初めて経験することで、お話を聞いたり実際に持ってきていただいた道具や材料を活用しながら、一人一人がそれぞれの作品を仕上げました。「日本の職人さんたちはすごい」「職人技はすごい」とよく言われますが、わずかな時間での体験だったので、それぞれの分野における奥深さにはたどりつけるはずありません。しかし、ほんのさわりのところであったとしても、子どもたちには貴重な体験、実りある時間となったようです。



<校長室でのひとり言>

教員が大勢集まっている研修会や会議、あるいは親睦会の際に周囲を見渡していると、コミュニケーション力という点で個人差が大きいことに気がつく。一般的に「顔が広い」と言われるタイプの方は、この能力が高いと考えられる。機転が利く人は、相手の興味や関心を引き出すような話題を次々と出してくるし、そこにユーモアのセンスを交えて楽しい場をつくることができる。(うらやましい)

子どもたちを眺めていると、同じような状況が見て取れる。物怖じせず誰とでもすぐに打ち解けて仲良くできる子、常に大勢の中心になりリーダーシップを取る子、その反対に人見知りのところがあり、人前では表情や言動が乏しい子もいる。何となく前者が得をしているような気がするし、親の立場でも安心できるかもしれない。(私は仕事柄、できるだけ後者に目を向けるように努力をしている)

でも、どちらにもよさや魅力はある。これまでの生育歴や環境で育まれたものだから、無理に変えるのではなく、その生かし方や活躍の方法を見つけていく方が自然だと思う。(どの子も頑張れ!)